



いっ 巖のしらかし

《白檀中学校だより 第12号》

令和6年 11月18日発行

文責:校長 西村 拓司



ホームページ

ユニセフ教室を終えて(2年生) ◇ ユニセフ・キャラバン・キャンペーン in 奈良橿原 ◇

11月13日(水)に、ユニセフ協会主催による、世界の子ども^{こども}の現状やユニセフの活動を学校で紹介するユニセフ・キャラバンが本校で行われました。講師は、事業部の高円承子(高円宮承子)さんを中心に、協会スタッフの方々が務められました。はじめに、世界の紛争や気候変動、貧困などの現状を教えてください、ユニセフ協会がどのように世界の子どもたちの支援をしているのかもご紹介してくださいました。

体験コーナーでは、実際にネパールの子ども達が水運びに使っている水がめを、水を入れた状態で持ち上げたり運んだりしました。また、ユニセフが使っているマラリア予防のための「蚊帳」をご紹介していただき、その中に入ってみたいという体験も行いました。



《高円承子さん》



《水がめ体験》



《水がめ体験》



《蚊帳体験》

私たちの日々の生活では、蛇口をひねればあたりまえのように水が手に入りますが、毎日8時間も歩いて川へ水を汲みに行く少女の映像を見たときは、生活のギャップに驚いていた生徒もたくさんいました。また、生命の危機にある栄養失調の乳児の様子や、戦争で家族を失った子ども^{こども}の話など、考えさせられる現状がたくさんありました。学習会の最後の質疑応答では、心の琴線^{きんせん}に触れたことも多かったのか多くの生徒が質問をしました。日々の生活に感謝するとともに、これから私たちも何ができるかをしっかりと考えて過ごしたいと思います。そしてまた次の にあてはまるそれぞれの想いを胸に、次の一步を踏み出したいと思います。

『すべての子ども達に を』

気候変動や戦争のせいで食べるものや住む家がなく、学校に行けない子どもたちがたくさんいることを知りました。そのことをふまえ、今の生活をあたりまえと思わず大切にしていこうと思いました。また、重い水がめを運んだり、学校をやめて家族のために働いたりといった現状を解消しようと支援しているユニセフのみなさんの活動はとても素晴らしいと思いました。私たちも募金や他にできることをやっいていこうと思います。 生徒代表挨拶 松浦 陽さん



ブランドリー(Akinyele Brandly)先生 ありがとう！

10月21日から、檀原市ALT(外国語指導助手)として勤務して下さったブランドリー先生が、11月14日をもって白檀中学校での勤務を終わられました。英語の授業だけではなく、放課後や休憩時間も、たくさんの生徒達に気さくに話しかけて関わって下さいました。みなさんへのメッセージをもらっています。



白檀中学校の生徒の皆さんには、若いうちにできるだけ多くのことを学ぶよう勧めます。好奇心を持ち、質問することを恐れなくてください。そして、読んで、読んで、読んでください。視野を広げるために、できるだけ多くの本を読むようにしてください。ありがとうございます。

Thank you , have a nice day.

Akinyele Brandly

命の授業(1年生)「あなたの命～生と性について考えよう～」

11月11日(月)に心友助産院から助産師の織田さんと高橋さんを招いてご講演をしていただきました。思春期の体の変化、妊娠、命の誕生、命のつながり、人形を使った胎児の成長やスライドを見ながら出産時の様子など、なかなか聞けないこともたくさん教えていただきました。

自分の心臓の音を聴診器で聞いたり、妊婦体験『～妊婦さんの1日～』では、畳の上で寝たり起きたり、おもちゃの片付けなどをしたりして、妊婦の大変さを感じ、いたわりの気持ちを持たたのではないのでしょうか。感想文の中には、「自分が今ここにいられるのはお母さんや助産師さん、いろいろな方たちのおかげだと気付かされました。」「周りの人たちに感謝して精一杯生きていきたいと思いました。」「自分を生んでくれたお母さんに、大切に育ててくれていることに感謝して生活していきたいと思いました。」

「命を大切に生きていこうと思いました。」「帰ったら自分の生まれたときの話を両親に聞いてみたいです」などの感想がたくさんありました。また、命には責任が伴うこともお話しして下さり、自分たちが大人になったときどう向き合っていくか考えた生徒もいて、一人ひとりの心の中に響いたものがあり、とても充実した時間となりました。

(文:養護担当 上田 依子)



白檀公園、鳥屋公園の地域清掃を終えて

11月10日(日)、少し肌寒い秋晴れの天候でしたが、PTA 清掃活動に生徒会と本校の弓道部などから合計8名の生徒が参加してくれました。少ない人数でしたが、たくさんの落ち葉を集めることができ、それを袋に詰めると、落ち葉がいっぱい詰まった袋がたくさん並びました。参加してくれた生徒のみなさん、ご苦勞様でした。

(文:生徒会担当 中前 芳一)



地域清掃に参加して

清掃活動は疲れましたが次第にきれいになる景色に感動と達成感を味わうことができたことが良かったです。清掃活動は約1時間ほどでしたが PTA の皆さんと力を合わせて清掃をしたのであっという間に時間が過ぎました。 生徒会長 菊地 拳

